

ORANGE JOURNAL 法政大学 校友会報

よき師 よき友 つどひ結べり

Published by 一般社団法人 法政大学校友会
発行人: 竹中 宣雄 (校友会会長) 編集人: 田崎 稔 (校友会副会長)
〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4階
TEL: 03-3264-1831 FAX: 03-3264-4770 E-mail: jimukyoku@hoseinet.or.jp

目次
パリオリンピック特集 P1
年頭挨拶 P2
篤志家を表彰 P5
特集: 母校での経験を糧に、私たちのキャリアの切り拓き方 P8
リカレント教育だより P9
スポーツ特集 P10
第30回全国卒業生の集い 秋田大会 P12



www.hoseinet.or.jp
(法政大学校友会 HP)

パリ2024 オリンピック 敦根崇裕 金、見延和靖 銀、尾崎世梨・高嶋理紗・福島史帆実 銅
法政大学オリンピック・メダル獲得数を更新

2024年7月26日から8月11日まで、フランス・パリで第33回オリンピック競技大会が、開催された。フェンシングには本学卒業生と現役生6人が出場し、うち5人がメダルを獲得した。メダリストは法学部4年生でフェンシング部所属の尾崎世梨選手はじめ、敦根崇裕選手(法学部20年度卒業)、高嶋理紗選手(国際文化学部20年度卒業)、福島史帆実選手(法学部17年度卒業、見延和靖選手(法学部10年度卒業)の5人。



- 金 敦根 崇裕 (2020年度法学部卒) 男子フルール団体
銀 見延 和靖 (2010年度法学部卒) 男子エペ団体
銅 尾崎 世梨 (法学部4年生) 女子サープル団体
銅 高嶋 理紗 (2020年度国際文化学部卒) 女子サープル団体
銅 福島 史帆実 (2017年度法学部卒) 女子サープル団体

1935年に創部。男女ともに関東学生連盟1部に所属している。全日本学生選手権では例年複数種目で優勝するなど、伝統と強さを兼ね備えた法政スポーツを代表する部のひとつ。世界選手権やオリンピックでも華々しく活躍する選手を多数輩出している。



敦根 崇裕 (しきね たかひろ)

1997年12月7日、大分県生まれ、27歳。東亜学園高校を経て法政大学法学部へ。卒業後、NEXUS FENCING CLUBに所属。オリンピック初出場となる2021年の東京大会では個人・団体ともに4位。2024年パリオリンピックでは個人では2回戦敗退なるも、団体で優勝。

金メダリスト 敦根崇裕選手が語る優勝の決め手とは

「準決勝のフランスには勝てる自信がありました。イタリアには近年勝つことができなかったのですが、この勝利は格別でした」と振り返るのは、2024年パリオリンピックのフェンシング男子フルール団体で金メダルを獲得した敦根崇裕選手。感情を抑えつつ闘志を内に秘めてきた敦根選手に、悲願の金メダルへの道のりを聞いた。

「将来オリンピックで必ず金メダルを取る」という心に決めたのは小学6年生のときだった。敦根家は家族4人全員がフェンシング選手。法政フェンシング部監督を務めたこともある父・裕一さん、1つ上の兄と自宅のリビングで6歳から剣を交えるようになり、小

学校からは父の勤務先の高校で練習に励んだ。パリで行われた小中学生の国際大会でベスト8まで進んだことが大きな自信になり、オリンピック優勝という夢を抱くようになったという。

「この大会の後、独特な構えを編み出しました。剣先を下げて攻撃する方法で攻撃権が相手に移ってしまうのを防ぐ手法ではあるんですが、日本人選手でこの構えをする人はほとんどいなくて、コーチからはかなり反対されました。単に試合に勝つのではなく、流麗なフォームで決めたい、これが敦根流のフェンシングだ。

「好きなことをし続けた結果が今日となりました。自分のなかで正しいと思っただけをやり、諦めずに続けることが大事だと思います。常にやりたいフェンシングで正々堂々と勝ちたいんです」

「思うような練習環境がなくなり、体力増進のためやむを得ず好きではなかったランニングを毎日5km繰り返しました。最終的には10kmにまで伸ばし、182cm 74kgの体重を64kgまで絞り込み、体が軽くなったぶんフットワークが格段に向上了しました」

しかしメダルを期待されるなか東京オリンピックでは個人、団体ともに4位に終わった。敦根選手は自身のインスタグラムでこう書いている。(メダルにあと一歩届かず人生で一番、本物の悔しさを知りました。(中略) 今回の悔しさをバネにこれからも頑張り続けます」

毎日3時間、2部練の場合6時間の練習。敦根選手はこれを努力だとは思わない、と語る。

東京五輪の悔しさにリベンジを誓う
2020年3月、コロナ禍で東京オリンピックが翌年に延期された翌月、日本代表の練習拠点であるナショナルトレーニングセンターが閉鎖されてしまった。

「多くの卒業生からお祝いのメッセージを頂きました。特にインスタグラムやLINEでのメッセージが多く、すべてに返信することができないほどでした」

思い出の地、パリでは金メダルを取りたいと誓っていたとおり、決勝では世界ランク2位のイタリアを45対36で下して優勝。松山恭助選手、飯村一輝選手、永野雄大選手と一番高い表彰台で手を取り合い、リベンジを果たした。

「多くの卒業生からお祝いのメッセージを頂きました。特にインスタグラムやLINEでのメッセージが多く、すべてに返信することができないほどでした」

昭和100年・法政大学145年の歩み - 略年表 -

Table with 2 columns: Year (e.g., 1880, 1900, 2000) and Key Events (e.g., 1880年明治13 一世の中の主な出来事, 1900年明治36 国家教育令公布, 2000年平成12 有珠山三宅島が爆発)

2025年 年頭挨拶



廣瀬克哉総長

明けましておめでとうございます。

法政大学では、昨年の創立記念日である4月10日に、2030年度を目途に、経済学部を現在の多摩キャンパスから市ヶ谷キャンパスに移転することを公表しました。長期ビジョンHOSEI2030の中で「キャンパス再構築」と掲げてきた構想の具体化と位置づけられます。それにとともに経済学部を受け入れるための市ヶ谷キャンパスの整備、経済学部移転後の多摩キャンパスの魅力を高めるための教学と施設の両面にわたっての新たな構想が求められます。まずはその前提となる「キャンパスグラウンドデザイン」を本年度中に策定することを目指して全学で検討を進めているところです。また、校舎の老朽化が進んでいる国際高の施設整備についても具体的な検討が始まっています。

2024年度には、今後の法政大学のグローバル化と、ダイバーシティー化を全学的、組織的に推進すべく「グローバルティ・ダイバーシティー推進本部」を設置しました。また、ダイバーシティー・エクイティ&インクルージョン（DEI）センターを開設し、多様な背景をもつ構成員が安心して創造的に学び、働き、それぞれの個性を伸ばせる場になるよう、取り組んでいます。

2024年は小金井キャンパスが開設60周年、多摩キャンパスが開設40周年を迎えました。田園地帯に宅地開発が進みつつあった小金井キャンパスは、キャンパス開設と同時期に東小金井駅が開業したこともあって、今ではすっかり住宅に囲まれています。新たな施設整備が進み、2023年に発足した理系コンソーシアムの活動も展開され、科学技術に国境はないという時代において、大学院博士課程も含めて留学生が増え、グローバルな法政理系の拠点としてさらなる活性化が進みつつあります。

広々とした自然環境豊かな多摩キャンパスは、竣工当時最先端のキャンパス構想や校舎設計により整備されました。40年が経過し、キャンパス空間に求められる要件が大きく変化してきています。その変化への対応を急ぎ進めていく必要があると考えています。また、周辺環境も大きく変わりました。かつてキャンパスを囲んでいた若い住宅団地は高齢化も進み、現代的な社会課題に直面しています。様変わりした課題先進地となっていますが、そんな地域の課題に積極的に関わっていくとする動きが、ソーシャル・イノベーションセンターを拠点として盛り上がってきています。

最も新しくキャンパス整備が一段落した市ヶ谷キャンパスでは、現在の形のキャンパスで迎えた新入生がこの春卒業を迎えます。秋の学園祭などでは、学生たちがこの形のキャンパスに馴染んできたことを実感させられました。集積度が高く、学部横断的な教育、社会連携活動が展開しやすいという条件を活かして行きたいと考えています。

スポーツにおける在学学生、卒業生の活躍として、2024年に特筆すべきは、パリオリンピックにおけるフェンシング部の活躍、日本のメダルへの貢献です。卒業生を含めて本学からは6名の選手が出場し、男子フルレ団体の金、男子エペ団体の銀、女子サーブル団体の銅のメダル獲得に貢献しました。パリ五輪では、フェンシング強豪国として日本の出現が印象づけられましたが、長年に渡る強化の取り組みの成果であり、競技指導陣の努力の賜でもあり、俄に成し遂げられた成果ではないと伺いました。その強化体制づくりや指導においても、本学フェンシング部卒業生のみなさんの貢献があったと聞いています。この機会に法政大学卒業生のみなさんと共有したいと思えます。

このような活動をいま展開しつつ、これからも法政大学は、大学憲章の結びにあるように「あまたの卒業生たちと力を合わせて」社会の未来に貢献していきたいと考えております。校友会のみなさまにも、そのような法政大学のパートナーとして、引き続きご支援を賜りたく、どうぞよろしく願いいたします。



竹中宣雄会長

法政大学卒業生の皆様、新年明けましておめでとうございます。

大学創立145周年を迎える令和7年は、換算すると昭和100年になるそうです。この長大な歴史の中、「母校・法政」という共通点で結ばれるネットワーク、それが校友会です。

法政大学校友会は、昨年一般社団法人化10年の節目を迎えました。校友会の歴史は非常に古く、法政大学百年史に「東京法学校」時代の明治20年（1887年）に校友会設立が記されています。現在は国内84団体・海外19拠点のパートナー組織を抱えるネットワークへ成長し、時代に即した先進的な卒業生組織として活動しております。

2025年は、これまで整備した様々な施策をさらに推進して参ります。

正会員拡大のため、全国20万以上の施設で優待・割引が受けられる会員向けサービス「校友会クラブオフ」、そしてダウンロード数12,000超の「校友会公式アプリ」を更にアピールして参ります。校友ならではの特典と共に、配信ニュース等を通じ地域支部や同窓会にご着目いただき、魅力的な校友会活動へのご参加を、いっそうお願い申し上げます。

さて、昨年の印象的なニュースと言えばパリ五輪ではないでしょうか。特にフェンシングでは法政出身選手が大活躍しオレンジ旋風を巻き起こしました。無観客の東京五輪を思うと、パリ五輪のにぎわいは感慨深く、当たり前のように校友と喜び合える幸せをかみしめる機会となりました。五輪に限らず、六大学野球や駅伝等、スポーツは校友の心を熱く、ひとつにいたします。HSC(法政スポーツコミュニティ)や「校友会箱根駅伝応援募金」を通じ、法政スポーツを支援して参ります。

また、校友会では念願の正課授業「社会連携講座」(法政大学社会連携教育センター主催)をスタートし、2025年度も春・秋学期に継続開講いたします。パートナー組織「法政財界人倶楽部」より豊かなビジネス経験と母校への情熱を有する校友を講師陣としてお招きし、佐野哲常務理事・経営学部教授がファシリテーターを務められ、SNSも活用した双方向性をいかし、活発な授業がおこなわれる予定です。学生の皆様、ぜひ受講してください。

校友会三大イベントにも力を入れて参ります。昨年1月「2024年オール法政新年を祝う会」では、猿田彦珈琲株式会社代表取締役である大塚朝之氏を始めとした講師の皆さんに、様々な「『価値』創造」について講演をいただきました。9月には「第23回オール法政ゴルフ大会「総長杯」」を千葉県キングフィールドゴルフクラブで開催。10月には秋田県秋田市において「第30回法政大学全国卒業生の集い」が秋田県校友会の力強い団結のもと、全国から約500名の卒業生を集め開催されました。2025年は福岡県福岡市で開催予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

少子化のスピードは留まるところを知らず、大学を取り巻く環境は厳しさを増していくと予想されます。校友会は「校友会奨学金」等を通じた学生支援はもちろん、パートナー組織による母校をアピールするイベントを支援し、地方や各界における法政知名度向上へ尽力いたします。

校友会内の課題では、まずは若手会員のパートナー組織への移籍ルール緩和を実現しました。

また、従来の独立した校友会館建設の方針から、大学の協力のもとキャンパス内へ校友施設設置を目指す方向へ改めました。その他、メール配信やSMS配信システムを活用し、効果的な情報発信に努め、若手や女性活躍推進の課題に全力で取り組んで参ります。

新年も、校友会は、大学・後援会と三位一体で連携し、ネットワーク拡大、大学支援、そして「価値」創造を通じ、持続可能な社会に貢献して参ります。

皆様と、母校・法政大学のますますの発展を心より祈念申し上げます。

2023年度正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位円)

科目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	194,235,000	198,705,000	△4,470,000
新卒終身会費	18,480,000	190,320,000	△171,840,000
既卒終身会費	9,405,000	8,385,000	1,020,000
事業収益	27,915,072	21,107,597	6,807,475
受取寄付金	0	0	0
雑収益	1,304,253	1,245,639	58,614
経常収益計	223,454,325	221,058,236	2,396,089
(2) 経常費用			
事業費	31,210,781	22,286,820	8,923,961
管理費	69,050,374	62,109,835	6,940,539
経常費用計	100,261,155	84,396,655	15,864,500
当期経常増減額	123,193,170	136,661,581	△13,468,411
当期一般正味財産増減額	123,193,170	136,661,581	△13,468,411
一般正味財産期首残高	1,308,096,313	1,171,434,732	136,661,581
一般正味財産期末残高	1,431,289,483	1,308,096,313	123,193,170
正味財産期末残高	1,431,289,483	1,308,096,313	123,193,170

2023年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産合計	357,252,004	358,161,671	△909,667
固定資産			
特定資産合計	1,281,269,000	1,161,129,500	120,139,500
固定資産合計	1,281,269,000	1,161,129,500	120,139,500
資産合計	1,638,521,004	1,519,291,171	119,229,833
II 負債の部			
流動負債合計	207,231,521	211,194,858	0
負債合計	207,231,521	211,194,858	0
III 正味財産の部	1,431,289,483	1,308,096,313	119,229,833
負債及び正味財産合計	1,638,521,004	1,519,291,171	119,229,833

2024年度予算について・2023年度決算について

2024年度予算(正味財産増減計算ベース)

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位円)

科目	当年度	前年度	増減
正味財産増減の部			
経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	195,000,000	194,235,000	765,000
新卒終身会費	180,000,000	184,830,000	△4,830,000
既卒終身会費	15,000,000	9,405,000	5,595,000
事業収益			
事業収益計	29,000,000	27,915,072	1,084,928
受取寄付金	100,000	0	100,000
雑収益他	1,000,000	1,304,253	△304,253
経常収益計	225,100,000	223,454,325	1,645,675
(2) 経常費用			
事業費			
事業費計	31,500,000	31,210,781	289,219
管理費			
管理費計	74,660,000	69,050,374	5,609,626
経常費用計	106,160,000	100,261,155	5,898,845
当期経常増減額	118,940,000	123,193,170	△4,253,170
当期一般正味財産増減額	118,940,000	123,193,170	△4,253,170

2022年1月のサービス利用開始以降、会員皆様にご利用いただき、優待利用による割引金額合計47,203,970円※を突破しました!



校友会終身会員のための優待サービス 「法政大学校友会クラブオフ」

※2022年1月~2024年4月のクラブオフサービス利用状況に基づき算出 ※パーセント割引の場合、相当金額に基づいて算出 ※クラブオフ経由でのパートナーサイトの利用はカウントできないため含まれない

地元で使える優待特集!

「法政大学校友会クラブオフ」では、全国約20万以上の施設・サービスがあり、全国展開しているチェーン店に加えて、各都道府県の店舗や施設でも、優待を受けることができます。「地元の優待特集」では、各地域のおすすめの優待メニューをわかりやすく掲載しています。その地域にお住まいの方はもちろん、旅行や帰省、出張などで、ぜひご利用ください。



例えばこんな使い方!

- シーン1 二次会のカラオケに**
 - ・ビッグエコー
 - ▶一般料金より料率 **30%オフ**
 - ▶ドリンクバー付飲み放題コース総額より **10%オフ**
 - ・カラオケ館
 - ▶カラオケフリータイム **25%オフ**
- シーン2 家族旅行先でレンタカーを利用**
 - ・ニッポンレンタカー
 - ▶おでかけ優待プラン **17%~41%オフ** (24時間料金比較)
 - ・日産レンタカー
 - ▶基本料金 **12%~50%オフ**

基本の使い方をおさらい(公式アプリからの利用の場合)

1 校友会公式アプリより「優待サービス」をクリック



2 右上のログインボタンより、ログインID(校友会会員番号)とパスワードを入力



初めてログインされた場合は、優待サービス提供元のリクラブへ新規会員登録(会員規約への同意・必要情報の入力)を行ってください



ログインID、パスワードを忘れた方はこちらからお気軽にお問い合わせください

名前が表示されていたらログインできています

3 キーワードやカテゴリから探すなどで、好きなサービスを選択

優待内容により、印刷クーポンや画面提示クーポンが利用できます。一部予約商品や郵送申し込み商品がありますのでご注意ください



優待内容
利用条件・利用方法を必ずご確認ください

クーポンはこちらをクリック

法政大学校友会クラブオフとは…?

「法政大学校友会クラブオフ」(以下、校友会クラブオフ)とは、校友会員(※)が、全国20万以上の飲食店や宿泊施設、レジャー施設等を、優待割引価格で利用できるサービスです。校友会員ご本人だけではなく、ご家族・ご友人など同伴者も同様に優待を受けることができ、大変お得です。※卒業生のうち、校友会費(終身会費3万円)を納入した方(2010年4月以降の入学で、2014年3月以降の学部卒業生(通学課程)は、卒業と同時に校友会の終身会員となります!)。なお、大学院、通信教育部卒業生は校友会費を納入すれば終身会員となります。

利用者からの声



利用する場面も多く、とても重宝しています。友人や同僚の前で利用する際は、法政の卒業生のサービスだよ、と言いがら利用しており、いい大学だね!と言われることが多いです。法政を卒業してよかったと思える理由のTOP5に入るくらい良いサービスです。

地方在住なので、大学へ簡単には行けないので、校友の繋がりが校友であるメリットが感じられます。

勤務先の福利厚生サービスと使い分けしています。卒業生で優待サービスを受けられるのはとても嬉しいです。

物価高な今、少しでも割引を受けられるのはありがたいです。

家族で使うと割引率も高く嬉しいです。旅行の際はチケットを安く購入し、その分お土産代に回しています。

校友会アプリのダウンロード▶



校友会終身会員へのお申し込み▶



TV局、広告会社、サントリーへとキャリアアップを実現

森田 夢実 (14年 キリアデザイン学部 キャリアデザイン学科卒)

「14年、キャリアデザイン学部卒業。本学を志望し、上京しました。在学中は友人に恵まれ、自由気ままに様々なチャレンジャーが生まれました。その後夢が叶い、名古屋のテレビ局に入社しました。報道記者と営業を経験し、自分の知見を増やしました。その後、メーカーの宣伝部として歴史とブランドがあるサントリーHDに入社し、念願の宣伝部で仕事をしています。今はテレビ局を巻き込んで広告コンテンツを作り、製品を知ってもらったり、コンテンツを楽しんでもらう喜びを感じています。」

欧州随想 ドイツ校友会で法政の輪を広げる

大矢 英明 (11年 経営学部 経営学科卒)

「2020年9月、ドイツに降り立った。ここで多国籍なメンバーと働くのは、15年前の夢の中にあるようだ。就職活動の面接で語った志望動機を思い出す。将来はヨーロッパスポーツの中継がしたい」と。紆余なく、電通を退職しFIFAマスターに通う方に、コンプレックスの裏返し「番組がヒットする背景」を伺った。憧れていた広告会社の方と会うと心を動かされる。生きる軸を大切に、色々な出会い、出来事に導かれてこられた。ドイツ校友会に属しドイツ語を満喫しているもの、語学問題や大きな問題として移民難民問題を抱え、多少の困難が伴う。海外生活を通じ、日本がますます素晴らしい国だと気づいた。」

やっぱり、カープじゃ

島村 誠 (75年 社会学部 社会学科卒)

「原爆投下から来年で80年、広島は見事に復興を遂げた。市民の支えとなったものの一つが、4年後に新聞に名前が載ったカープ球団だ。昭和50年、私が入社した。近年でも、広島地区のカープ中継だけは視聴率を大きく獲得し、入場券も入手困難な状態が続いている。お土産から店の看板、ユニフォーム姿など街中にカープ愛が溢れ、試合結果に一喜一憂している。昨日、大谷翔平の打率中継は視聴率20%を超え、日本中が沸き、かつてのプロ野球全盛期を彷彿させる。カープには大谷選手のようなヒーローはいない。選手の間で努力と汗と、チームワークがある。それが広島の方だと思える。法政大出身でカープを支えてくれたミスター赤へル・山本浩二さん。これからの宇草孔選手に注目している。頑張れ!カープ。」

ESSAY

校友随想

法政おわが母校を卒業して幾年。各方面で活躍しその後の人生模様を寄稿願った。

PARTNER NEWS

パートナー

地域・卒業生団体 学部・付属校同窓会 だより

文学部同窓会

「吉村昭書齋」に行く
文学部同窓会では、「特別企画」として、毎年、春と秋に都内・近郊散策を行っている。

11月8日（金）、本会の井坂義雄元会長（本学名誉教授）にご参加いただき、三鷹市の「吉村昭書齋」を訪ねました。

「巖風」、「破獄」、「桜田門外ノ変」など、記録文学

の第一人者として知られる吉村昭の作品の多くは自宅敷地内の書齋で執筆されました。

昭和34年、吉村昭・津村節子夫妻は三鷹市に自宅を建て、当初は各自の書齋がありましたが、10年経つと吉村の書齋が資料で溢れ返ったため、敷地内に離れを造って吉村の書齋としました。吉村は昼食を除き朝から夕方までこの書齋にこもって執筆し、書齋に早く



吉村昭書齋前で（左から2人目が井坂義雄本会元会長）

経営学部同窓会

吉村の没後、書齋が津村から三鷹市に寄贈され、現在地に移築して令和6年から公開されたので、「吉村昭書齋」を訪ねて吉村文学の偉業を偲びました。（75年中学科卒・金森和彦）

2024年経営学部同窓会定期総会・懇親会・懇親会開催
6月22日（土）14時より、市ヶ谷キャンパスにて、2024年経営学部同窓会定期総会・講演会・懇親会を開催しました。

定期総会は、他学部同窓会の方々と来賓としてお招きし、すべての議案が全会一致により承認されました。議案の詳細は同窓会ホームページ（<http://www.houseikeidousenkai.com>）に掲載されています。

引き続きの講演会は、経営学部経営戦略学科の福多裕志教授による「意思決定の理論的枠組み」をテーマとして行われました。経営学部生として身に付けておくべき、自然言語・コンピュータ言語・企業言語のお話から、意思決定に至るアプローチの方法やプロセスなど、経営学部での授業を思い起こさせる内容でした。

最後の懇親会は、来賓・教授陣・在学生も参加し盛大に行われました。参加者からは東京六大学野球の現状や来年の箱根駅伝のお話などもお聞きすることができました。最後には参加者



福多裕志教授による講演会

栃木県校友会

栃木県校友会「卒業生の集い」を開催
栃木校友会は、2024年（令和6年）5月26日にニューイヤで「卒業生の集い」を開催した。

一同が肩を組み、校歌斉唱をして閉会となりました。

千葉県校友会

2024年度千葉県校友会総会開催される
2024年度の千葉県校友会総会が去る6月16日、千葉県千葉市中央区「ホテルプラザ菜の花」において開催されました。

千葉県校友会（会長伊藤賢二・船橋校友会所属）は、令和6年6月現在、8つの支部（千葉中央、松戸、外房、成田、船橋、内房、市川、東葛）により構成され、総会当日は各支部から代表者が出席し来賓を含め総勢19名で会議が行われました。

冒頭、来賓の法政大学理事岡本真司氏から祝辞があり、その中で本年度の大学志願者数などから大学を取り巻く状況を解説、更にパリ2024オリンピックを目前にOBを含めた本校からの出場者を紹介され、彼らへの応援を促されました。

続いて、校友会組織部会副部会長の山崎文彦氏より終身会員について説明があり、会員拡大への取り組みやオール法政ゴルフ大会、秋田県での全国卒業生の集いといった主要事業への積極的な参加が呼びかけられました。

総会の議事では、前年度の千葉県校友会事業報告並びに会計報告が議題とされ、事務局から報告後、田中利幸校友会副会長よりビデオメッセージをいただきました。



2024年度総会

福井県校友会

創立45周年記念総会が開催される
2024年8月31日（土）に福井県福井ビル10階で開催された福井県校友会創立45周年記念総会は、北川頼子会長が開会を宣言し、母校の更なる発展を誓いました。小秋元副学長より、記念総会開催のご祝辞を、田中利幸校友会副会長よりビデオメッセージをいただきました。

引き続き、小秋元副学長より大学の近況について、詳しいご説明をいただきました。①全国大学の受験者数ランキングは第5位だが、

SERIES 校友会紹介

富山県校友会

令和6年度法政大学富山県校友の集い

令和6年8月25日（日）、富山市のANAクラウンプラザホテル富山において「法政大学富山県校友の集い」が開催された。

この校友の集いは、オール法政の力を結集し法政の名を高めることを目的に、平成26年から後援会富山県支部との共催により公開講演会と懇親会を行っている。

総会では、令和5年度事業報告として、スポーツ推薦による本学への入学予定者の激励会を開催したことなど、実施事業の内容及び収支決算を報告するとともに、令和6年度事業計画と収支予算を審議した。また、2年に一度の

役員改選により、約14年間の長きにわたり本会の会長を務めた松井幹夫氏（法政大学校友会顧問・理事）が勇退し、新たに山地清氏が会長に就任することなどを含めた役員改選案を全会一致で承認した。

公開講演会には、講師として法政大学名誉博士でQRコードの開発者（株）デンソーウェーブ 主席技師）の原昌宏氏を招いた。「社会を変えたQRコードの開発・進化と活用事例」の演題で行われた講演には、校友会員、後援会員はもとより、多くの一般聴講者も詰めかけ、約1000名が

耳を傾けた。

懇親会では、山地清新会長から「富山県校友会の伝統を受け継ぎ、更に発展させよう」という趣旨の挨拶があった。続いて、来賓の挨拶として、ダイアナ・コー大学常務理事・副学長、田中利幸校友会副会長から、大学・校友会を取り巻く現状と課題などについて語られたほか、松井前会長への記念品の贈呈や、今年の春の叙勲・褒章を受章した堀内康男常任相談役、前田隆夫常任相談への記念品の贈呈が行われるなど、世代を超えた校友同士の親睦が深められた。

最後に、参加者一同肩を組んで声高らかに校歌を斉唱し、盛会の内に幕を閉じた。（参加者は総勢70名）

事務局長 青山哲也



伝統芸能の披露で盛り上がる

2024年度の活動スケジュール
24年5月 役員会
5月 卒業生の集い
8月 小山支部会
12月 役員会 ニューイヤホテル
25年1月 那須野ヶ原支部会
3月 役員会
（栃木県校友会会長 寺内正毅）

他大学の特殊要因を排除すると実質志願者数は第2位となっている。②SDGsへの取組と留学制度の充実で志願者からの評価が高い。③30年には経済学部が市ヶ谷キャンパスへ移転する。等々、卒業生として母校の先進的取組を拝聴し、大変心強く感じました。

記念講演は、MAGOMOTORS JAPAN 取締役の木村太一氏（福井市出身、2011年経済学部卒）からアフリカの惨状を救うべく、廃材ARTをビジネス化して世界に展開する活動についてお話しいただきました。

小秋元副学長からはサステイナブルとキャピタリズムを合わせて環境と文化と経済を循環させていくモデルについての質問と、この取組への賞賛をいただき、会場が大変盛り上がりました。

懇親会には小秋元副学長にもご参加いただき、大いに親睦を深めました。法政大学応援団・チャリティーリーグ部OB・OGの野辺夫妻より、「校歌斉唱」若き日の誇り」演舞で大いに盛り上がりました。

（幹事長 平塚幹夫）



参加者全員で記念写真

SERIES パートナー組織紹介

一般財団法人法政大学経営者懇談会

第34回公開講演会 亀田製菓元会長古泉肇氏を招いて開催

10月23日水曜日夕刻、法政大学ボアソナードタワー26階にて、亀田製菓株式会社 元代表取締役会長の古泉肇様（法政大学経営学部卒）をお迎えして公開講演会が開催されました。

「法政大学卒業生としての関心」として、地域と共に成長し続ける極意を伝授していただきました。参加者は、約60名。古泉様の興味深い話に、参加者全員が学生に戻り熱心に聴き入りました。



（事務局 小畑 翔一）



全国大会会場にて 清水さん(左)と竹中会長

この度、1969年工学部を卒業された清水昌良さんから、法政大学はじめ、校友会本部や支部、法政大学中高等学校同窓会、理系同窓会、工体連柔道部など本学に關係する多数の団体に対し、多額のご寄付の意向をいただきました。...

法政大学・校友会などに多額の寄付をされた 清水昌良さんに感謝状を贈呈

校友会では、様々な形で法政大学や校友会活動に対し、献身的に尽力された方々に感謝状を贈呈しております。諸先輩方が無私の方針で、大学や社会に貢献されている姿に、私たちは尊敬の念を禁じません。

シッティングバレーボールの公式サポートシンガー 本学卒業生の歌手、奈月れいさん ミニアルバムをリリース!



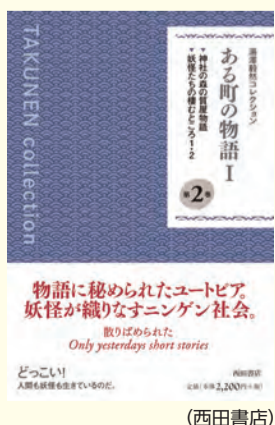
法学部卒業。大手銀行に入行するも、母の死をきっかけに、「誰かの心を癒せる仕事がしたい」と歌手の道を決意する。現在、歌手活動に加えて、心と身体に障害をお持ちの方への学びの場を提供するために、大学の客員教授として授業の中で音楽の素晴らしさを届けている。

ここ数年のコロナの影響を受けつつも、満を持してミニアルバム「SWEETONE」が2024年10月10日発売。「さもない日々」「うけとめて」「Sweet Secret」「歌～私の人生～」の4曲を収録。自分自身の歩んできた道のりの上にある幸せと人生という最大のテーマ、歌うことに対する真っすぐな想いと決意、そして奈月自身のファンの方への思いを形にして歌われている。...

本の散歩道



老いは孤立を誘う 「支援される・支援する」関係の再構築 少子高齢化に加え単身化、となれば身寄りなき老後も珍しくない。気がつけば「ひとり」である。本書は深刻化する我が国の孤立問題を、コロナ禍で、貧困で、限界家族の下で取材を重ねる一方、自治体の挑戦、社会的処方にも及んでいる。...



湯澤毅然コレクション(第2巻) ある町の物語I 本書は本校文学部英文学科を卒業し、埼玉日産自動車に勤務した湯澤毅さん(ペンネーム湯澤毅然)の遺稿です。著者は2021年、ステージ4のがんを宣告され、2023年8月に55歳の生涯を閉じましたが、その2年半の間に、150万字におよぶ原稿を書き上げました。...

Table with obituary notices for various individuals, including names like 旭日小綬章, 瑞宝双光章, and others, with their respective dates of death and ages.

謹賀新年

卒業生の皆様 本年もよろしくお願ひします



法政大学校友会名誉会長 法政大学 総長 廣瀬克哉	法政大学校友会 会長 竹中宣雄 <small>法政大学2号評議員 社会学部1972年卒</small>	法政大学校友会 副会長 田崎稔 <small>社会学部1979年卒</small>	法政大学校友会名誉会長 法政大学校友会 副会長 大森廣行 <small>経営学部1970年卒</small>	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 三井和夫 <small>経済学部1978年卒</small>	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 中村寿美子 <small>法学部1981年卒</small>	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 石渡洋行 <small>法学部1983年卒</small>	法政大学理事 法政大学校友会 副会長 岡本眞司 <small>経営学部1970年卒</small>	法政大学2号評議員 法政大学校友会 副会長 池谷文雄 <small>法学部1980年卒</small>	法政大学校友会副会長 法政大学応援OBORG会 会長 田中利幸 <small>経営学部1982年卒</small>
法政大学校友会 参与 桑原政昭 <small>社会学部1976年卒</small>	法政大学校友会監事 弁護士 高須順一 <small>法学部1982年卒</small>	法政大学校友会 法政士業の会・法政会計人会 監事 発地敏彦 <small>発地敏彦税理士事務所 経営学部1976年卒</small>	公認会計士法友会 法政大学校友会 監事 飯塚昇 <small>経営学部1974年卒</small>	法政大学1号評議員 法政大学校友会 監事 田中修司 <small>法政大学法人統括本部長 経済学部1989年卒</small>	法政大学校友会 監事 坂本考史 <small>法政大学後援会事務局長</small>	法政大学 常務理事 副学長 小秋元段	法政大学 常務理事 副学長 佐野哲	法政大学 常務理事 副学長 奥山利幸 <small>経済学部1986年卒</small>	法政大学 常務理事 小澤雄司 <small>社会学部1986年卒</small>
法政大学 常務理事 副学長 金井敦	法政大学 常務理事 和仁達郎	法政大学 常務理事 副学長 ダイアナ・コー	法政大学 常務理事 副学長 岩崎晋也	法政大学 常務理事 平山喜雄 <small>法学部1987年卒</small>	法政大学校友会 名誉顧問 佐々木郁夫	法政大学校友会顧問 法政大学校友会北海道ブロック 理事 西岡憲廣 <small>札幌山の手高等学校理事長・校長 法学部1963年卒</small>	法政大学校友会顧問・北信ブロック理事 富山県校友会 特別顧問 松井幹夫 <small>法学部1964年卒</small>	法政大学校友会顧問 大阪府校友会 名誉会長 樋口正蔵 <small>法学部1962年卒</small>	法政大学校友会 顧問 井上泰一 <small>法学部1969年卒</small>

賀春

一般財団法人 法政大学経営者懇談会

これからの日本を背負うのは中小企業の経営者達です。企業経営者、学生経営者、起業家、後継者たちが会員です。幅広い業界、校友をはじめとして有意義な活動と一緒にしませんか！入会をお待ちしています。

代表理事 金子正之

ご入会お問い合わせは以下事務局まで

〒175-0083 東京都板橋区徳丸4-11-2 中尾建設工業(株)内

Mail: hoseikeisya@gmail.com

Web: http://hosei-keisya.com/

迎春

法政大学後援会

～子どもの母校は我が母校～

〒102-0073

東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4階

TEL. 03-3264-9392



謹賀新年

法政財界人倶楽部

法政財界人倶楽部は設立30周年を迎えます。

上場企業の「役員・執行役員」会員(現在263名)に加え、「部長職・課長職」会員(現在153名)の入会も受け付け中です。

法政財界人倶楽部事務局まで申し込み連絡をください。

会長 村田 紀敏 昭和41年卒

(株)セブン&アイ・ホールディングス 元COO兼代表取締役社長

【連絡先】 法政財界人事務局 副会長 佐々木郁夫

TEL 03-3369-0804 担当 齋藤・道山・矢賀部

- 法政財界人倶楽部 会長 **村田 紀敏**
(株)セブン&アイ・ホールディングス
元COO兼代表取締役社長
- 法政財界人倶楽部 副会長 **山口 学**
(株)関電工
元取締役会長
- 法政財界人倶楽部 副会長 **田邊 光雄**
信金中央金庫
相談役(元理事長)
- 法政財界人倶楽部 副会長 **竹中 宣雄**
ミサワホーム(株)
元代表取締役会長
- 法政財界人倶楽部 副会長 **堰 八義博**
(株)北海道銀行
特別顧問(元頭取)
- 法政財界人倶楽部 副会長 **佐々木 郁夫**
(株)日本共同システム
代表取締役会長
(元明治安田生命専務)

<p>法政大学校友会 顧問 豊田信哉 法学部 1962年卒</p>	<p>法政大学理事 法政大学校友会顧問 小林清宣 法学部 1975年卒</p>	<p>法政大学校友会 顧問 石塚護 法学部 1968年卒</p>	<p>法政大学校友会南東北ブロック 理事 高橋順弘 経済学部 1976年卒</p>	<p>法政大学校友会北関東ブロック理事 茨城県校友会 会長 木村眞 水戸法友会会長 経済学部 1962年卒</p>	<p>法政大学校友会東京ブロック理事 東京都校友会 会長 小田島英一 法学部 1975年卒</p>	<p>法政大学校友会財務部会長・参与 南関東ブロック理事 神奈川校友会 会長 北村武 経済学部 1974年卒</p>	<p>法政大学校友会中部ブロック理事 愛知県校友会 会長 山本英次 法学部 1972年卒</p>
<p>法政大学校友会関西ブロック理事 大阪府校友会 会長 上野隆祥 経営学部 1973年卒</p>	<p>法政大学校友会近畿ブロック理事 滋賀県校友会 会長 外池國夫 経営学部 1976年卒</p>	<p>法政大学校友会四国ブロック理事 愛媛県校友会 顧問 渡辺易廣 工学部 1975年卒</p>	<p>法政大学校友会北九州ブロック理事 長崎県校友会 岡村康司 経営学部 1982年卒</p>	<p>法政大学校友会九州ブロック 沖縄県校友会幹事長 理事 鈴木洋一 経済学部 1978年卒</p>	<p>法政大学校友会学部同窓会ブロック理事 神奈川校友会監事 理事 岡本眞 工学部 1970年卒</p>	<p>法政大学校友会付属校ブロック理事 法政大学高等学校同窓会 会長 高村嘉昭 経済学部 1970年卒</p>	<p>法政大学校友会職域第1ブロック理事 文化・フジタオレンジ法友会会長 文化シャッター株式会社 代表取締役 会長 潮崎敏彦 経済学部 1970年卒</p>
<p>法政大学校友会法政士業の会ブロック 公認会計士法友会 理事 石川正敏 副会長 経営学部 1983年卒</p>	<p>法政大学校友会スポーツ第一ブロック理事 法政大学体育会アメリカンフットボール部OBOGG会 大橋佳哉 法学部 1989年卒</p>	<p>法政大学女子・国際高等学校同窓会 会長 中村美津江 秋田県校友会 会長 渡邊光 社会学部 1979年卒</p>	<p>山形県校友会 会長 後藤和雄 経済学部 1981年卒</p>	<p>法政大学2号評議員 福井県校友会 会長 北川頼子 経営学部 1975年卒</p>	<p>埼玉県校友会 会長 高田勝 文学部 1974年卒</p>	<p>栃木県校友会 会長 寺内正毅 経営学部 1963年卒</p>	<p>山梨県校友会 会長 樋泉智男 社会学部 1964年卒</p>
<p>三重県校友会 会長 服部喜久男 経済学部 1976年卒</p>	<p>京都府校友会 会長 徳島環 法学部 1986年卒</p>	<p>和歌山県校友会 奈良県校友会役員一同 あけましておめでとうございます</p>	<p>島根県校友会 会長 佐々木雄三 経営学部 1967年卒</p>	<p>岡山県校友会 会長 西康宏 経営学部 1979年卒</p>	<p>広島県校友会 会長 斎藤周 工学部 1978年卒</p>	<p>福岡県校友会 会長 中村勇治 法学部 1993年卒</p>	<p>宮崎県校友会 会長 甲斐嘗一郎 工学部 1971年卒</p>
<p>沖縄県校友会 会長 糸数淳 法学部 1983年卒</p>	<p>法友野球倶楽部 会長 小早川毅彦 経営学部 2004年卒</p>	<p>法政大学体育会自動車部OB・OGG会 会長 岩瀬仁 経営学部 1973年卒</p>	<p>法泳会 会長 春木亮一 法政大学富士見射友会</p>	<p>法政大学富士見射友会 会長 吉田裕司 社会学部 1980年卒</p>	<p>交響楽団一九二一年創立 法政大学交響楽団 OB・OGG会 会長 内藤博 経済学部 1974年卒</p>	<p>建設・不動産橙法会 会長 柳 清龍 経済学部 1975年卒</p>	<p>法政大学中小企業診断士オレンジ会 会長 高田住男 経済学部 1977年卒</p>
<p>工体連OB・OGG会 会長 土居通明 工学部 1984年卒</p>	<p>公認会計士法友会 会長 太田莊一 経済学部 1977年卒</p>	<p>法政会計人会 会長 高田住男</p>	<p>法政大学OB・OGG会</p>	<p>法政大学OB・OGG会</p>	<p>法政大学OB・OGG会</p>	<p>法政大学OB・OGG会</p>	<p>法政大学OB・OGG会</p>

謹賀新年

法政大学並びに法政大学校友会の
さらなる発展を祈念いたします。

法政大学学部同窓会

法学部同窓会
会長 池上 貞純
<http://hosei-hodokai.jp/>

文学部同窓会
会長 清原 孟
事務局 F A X 03-3264-9840

経済学部同窓会
会長 村田 紀敏
<http://www.hoseikeiyukai.jp/>

理系同窓会
会長 村主 康和
<http://133.25.196.100/>

社会学部同窓会
会長 中 正美
<http://www.hoseisoc-dousoukai.jp/>

経営学部同窓会
会長 岩井 昭
<http://www.hoseikeidousoukai.com/>

通信教育部校友会
会長 米田 俊彦
<https://hosei-tk.com/>



出身学部の同窓会にも、ぜひ注目とご参加を！



法政魂を胸に、女性が輝く未来を創る



税理士法人
ティグレパートナーズ
代表社員
野口 みどり
1983年経営学部卒

法政魂と社会人デビュー〜グローバル企業での成長〜

2025年法政大学応援団は100周年を迎えます。その応援団で大学時代、私はチアリーディング部渉外責任者を務め、リーダーシップとコミュニケーション能力を磨きました。特に、

企業と連携し、都市対抗野球の応援を成功させた経験は、私にとって大きな転機となりました。この経験を

と大学院や専門学校の勉強を両立させる日々は、想像をはるかに超える過酷なものでしたが「大学時代、困難な壁を克服したように、今回も必ず達成できる」という強い信念を持ち続けました。

税理士試験に合格後、結婚し、3人の子供を授かり、いよいよ新たな人生の章の始まりです。その頃、税理士としてのキャリアにも挑戦したいという思いから、一念発起してより柔軟な働き方を目指し、税理士法人ティグレパートナーズに社員税理士として入社。早速ダイバーシティ推進室で新卒採用チームを立ち上げ、

女性が活躍できる職場環境づくりに尽力しました。その結果、女性社員の割合を20%から50%近くまで増加させ、組織全体の活性化に貢献することができたのです。この功績が認められ、全国28拠点の代表社員税理士に就任し、現在は飯田橋の東京事務所で、多岐な経歴を持つ社員たちと共に、組織を牽引しています。

周囲のサポートのおかげです。現在、仕事と育児の両立に悩む女性社員からの相談に乗る機会が多く、私自身の経験が誰かの力になっていることを実感し、大きな喜びを感じています。

プライベートでは、500人超のマンション初の女性理事長を務めたり、応援団OBOG会の副会長として現役の困り事の相談に乗ったりして、充実した毎日を送っています。休日は、神宮の野球観戦やライブに行き、応援することによってストレスを発散しています。

法政大学での経験の一つひとつが、私の人生における財産です。応援団で磨いたリーダーシップと大学で学んだ専門知識の融合が、現在の私の活動の礎となっています。法政の卒業生として、これからも社会に貢献し、後輩たちのロールモデルとなれるよう、精進していきたいと思っています。皆さんに心からのエールをお送りします。



特集 母校での経験を糧に、私たちのキャリアの切り拓き方

短大から本学に編入して起業家へ 若者の生き方を支援する仕事を創造する



ポジウィル株式会社
代表取締役社長
金井 芽衣
2013年キャリアデザイン学部卒

起業家としての原点

キャリアのパーソナルトレーニングサービス『ポジウィルキャリア』がメイン事業のポジウィル株式会社を創設しています。弊社のサービスはキャリアデザイン学部時代に学んでいたことがベースです。累計キャリア相談者数も約4万人となり、弊社のトレーニ

ングを受けて転職や独立などキャリアアップをした方が、「人生が変わった」「自分を認められるようになった」と涙を流して報告してくださる方もいて、皆さんのおかげで事業も、会社も、成長してきました。

私にとっての大きな転機は、「養護施設での実習」、キャリアデザイン学部は、「法政大学への編入」そして

経営と心理学とキャリア論の三つを学べて、私にとってバランスが良かったので、同じ学部の皆がキャリアデザインを仕事にしているわけではないですが、私

は、短大時代に行った養護施設での経験が、編入と起業のきっかけとなりました。虐待を受けた子どもたちがいる養護施設で泊まり込みをして、「お金の物の支えは国がしてくれるけれど、生き方の支援は誰もしてくれない」と気づき、大学に編入して未来の選択肢を

広げようと思いましたが、当時の短大の学長が勧めてくれたのが法政のキャリアデザイン学部。中でも宮城まり子先生の授業を受けたときに感銘を受けました。キャリアデザイン学部は、

不可能を可能に 8期目を迎えた会社

会社は現在8期目、使命感と共に駆け抜けてきました。顧客、社員、株主、社会のためにもやりきらないといけない。様々な困難も経験しましたが、社員や

株主、お世話になっている方と出会う世界が広がっています。また、自分で決めたことを自分で形にしていくこと以上に面白いこと

は、私自身も、生きづらさを感じています。妥協した選択をしていたら、今は

私は今後も、生きづらさを感じている人への支援を

したいと思っています。自らの経験から会社や社会を変えていこうと思っています。

思い描いた『生き方支援』の実現へ

プライベートでは、昨年出産をして1児の母に。経営と育児の両立はかなり大変です。約2リットルの出血をしたのに産後2週間で

復帰し、「普通に仕事ができな

い」ということが苦し

かったです。他の人には同じ思いをしてほしくないと

思いますが、誰の役に立てるか？ということに基づいて



新しい出会いを求める 好奇心が成長の原動力となる

私が大切にしている価値観のひとつに「挑戦」というキーワードがあります。幼少期から数々の習い事やクラシックバレエを通じて競争心が芽生え、社交性が身につ

き、それが土台となり、特に「全力」を自身のスタイルとしてモチベーションを高めるスキルは法政での4年間で形作られたものだ

人と人が行き交う 営業職は人生経験を積み最適な場所

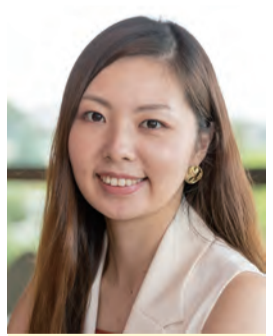
入社後転職とも思える仕事に出会い、2年目で昇進し、常に成長できる機会と

環境を与えて頂きました。楽天市場の営業コンサルタントからキャリアをスタートし、素晴らしい仲間と出会い、楽天モバイルの基地局設置の立ち上げを10人で行いました。モバイルの店舗統括や法人事業の立ち上げなどの経験を通して、「できない言い訳を排除し、やる方法を考えて抜く」という自分のスタイルが確立され、今に至っています。振り返ると、常に上司や先輩、同僚など周りに恵まれ、フィードバックや助言をいただき、3か月単位で自分の課題テーマを設定し、向き合ってきたことが今の自分をつくってくれたと思っています。

やり残したことに気づく

そして今、仕事をしながら車の免許を取得するため教習所に通っています。大学生生活に夢だった結果、取り忘れてしまったようです。何事も遅すぎることはありません。

人生は挑戦するから おもしろい 今後も推進力や突破力をもって周囲をエンパワーメントし続ける姿勢を持ち、課題解決に「全力」を尽くしていきます。最後に、法政大学出身者皆でより良い社会をいっしょにつくっていきましょう。GO HOSEI!!



(株)メルカリ
Head of Shops/
Ads CEO office
Director
戸田 雅子
2014年キャリアデザイン学部卒

楽天で本部長として数々の新規事業の立ち上げを経て フリマアプリ国内首位メルカリで可能性に挑戦

大学を卒業してから、あっという間に10年が経ちました。30代に入り、キャリアデザイン学部での学びを実感するようになり、人生は自分で切り拓くものだということを再認識しました。私はこの秋、2014年に新卒で入社し、10年在籍した楽天グループを卒業し、新たなチャレンジをします。世の中にインパクトを与える事業を通して活気あふれる社会の実現をしたいと本気で思っています。

飛び込んでいきました。自

少期から数々の習い事やクラシックバレエを通じて競争心が芽生え、社交性が身につ

き、それが土台となり、特に「全力」を自身のスタイルとしてモチベーションを高めるスキルは法政での4年間で形作られたものだ

法政でリスキリング！ 時代を生き抜く知識の獲得とビジネス能力の研鑽を再び母校で

法政大学では科目等履修制度と履修証明プログラムの二つのリスキリングの制度があります。混沌の時代の中で、卒業生の皆さんの知的武装を応援します。時代を生き抜く高度な知識の獲得とスキルの研鑽のために、法政で学びませんか？二つのリスキリングの制度は、それぞれ大学院の正規課程で学ぶための最初のステップとしても利用できます。



科目等履修制度

様々なニーズに応えるために科目等履修制度があります。1科目（登録料10,000円、履修料文系4単位科目1科目につき60,000円の合計70,000円）より履修が可能です。この制度は、大学院進学の前準備期間として活用でき、大学院進学の疑似体験としても利用できます。

履修証明プログラム

幾つかの大学院科目をパッケージし、気軽に専門的な知識と経験を得ることができる特別なプログラムです。

1科目ごとに科目を履修した場合よりも履修料が安く設定されており、専門知識を得るための本格的な学びの場としても、また、その後の大学院進学の入力口としても十分に役に立つように設計されています。履修証明プログラムで修得した単位は、大学院入学後に単位として認定されます。

修了者には学校教育法に基づき履修証明書が発行されます。また、希望者には右記プログラム修了時にオープンバッジの発行も行っています。厚生労働省教育訓練給付制度の「一般教育訓練講座」に指定されています。

SDGs Plus履修証明プログラム

SDGsをテーマとした科目がパッケージされた履修証明プログラムです。現代社会において欠かすことができないSDGsについて多面的に学び、社会人のキャリアアップやスキルアップを応援します。

ヘルスケア・マネジメント講座 履修証明プログラム

医療従事者および介護従事者、ならびにこれらの経営に携わる方を対象に、本講座ではマネジメントの視点から実践的な視座を得ることを目的としています。組織を継続的に発展させるためにはどうすればいいのかを多角的に学ぶことができます。

マネージャーのためのMBA講座 履修証明プログラム

職場で役立つマネジメント方法を学びたいと考えるビジネスパーソンに向けてイノベーション・マネジメント研究科のMBAの講義を提供します。受講生は総合経営、マーケティング、経営戦略の科目群から最大4科目受講が可能です。

リカレント教育オフィス公開講座

混沌の時代の社会人学び直し
—自分を守る武器を身につける—



2022年3月に開催した公開講座の収録動画です。働きながら法政大学で学び直しを経験された方をお招きし、仕事と両立する方法、学び直しによって得たものやスキルアップにつながったことなどをお聞きしたトークセッションをご覧ください。

詳細は、右記のQRコードよりご覧ください。



動画はこちら



リカレント
教育だより

本学大学院での学び直しを経て、超ドミナント戦略を実践 ～高齢者のための最後の砦・受け皿を「社会的な公器」に～

江頭 大(えがしら だい)さん



プロフィール
2008年現代福祉学部卒業、同年(株)日本アメニティライフ協会(JALA)に入社。現在取締役副社長兼事業本部長。勤務しながら、2014年法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント科修了、2020年度同専攻科目等履修生

これまでの実績が認められ、役員に

株式会社 日本アメニティライフ協会(以降、JALA)は神奈川県、東京都内のみで認知症高齢者グループホームなどの介護事業や障害者福祉事業、保育事業や、日本語学校事業など、約370の事業所を運営している超ドミナント戦略^(注)を実践している企業です。従業員数は非常勤を含め約7500名にも上り、売上高も約273億円の企業規模となりました(2024年3月末実績)。

入社後しばらくして、神奈川県相模原市にある認知症高齢者グループホーム「花物語さがみ湖」の施設長として立ち上げを経験し、開設月に入居者定員の満床を達成することができました。その後、新規施設の開発を担当するようになり規模が拡大。当時の経営陣より執行役員就任の打診がありました。これが大学院で学びきっかけとなりました。

(注) 特定エリアに集中出店することで、競争優位性を確保し、さらに独自の価値を掛け合わせて進化する戦略

従業員とその家族を守るという責任感

役員就任については評価されてうれしいと思う反面、働いている従業員とその家族を守らなければならないという責任感が芽生えました。そこで、経営を体系的に学ぶ必要があると考え、2012年に本学大学院のイノベーション・マネジメント研究科(以降、イノマネ)に入学することを決意しました。

タイムマネジメントの重要性を学ぶ

イノマネでの学びは全てが新鮮でした。仕事を終え、授業を受講し、帰宅してから2日後の課題に取り組むといったハードな授業構成のおかげもあり、タイムマネジメントの重要性を学ぶことができました。移動時間や入浴中に勉強や課題に取り組んだり、昼食は時短のために海苔が既に巻かれているタイプのオニギリ2個にお茶と決めたり、24時間を有効に活用するために寝る時間と起きる時間から逆算して睡眠時間を切り詰めて生活したりといった日々でした。

そんな生活も半年後には慣れ、余裕をもって毎日過ごすことができるようになりました。これは現在の仕事に生かされていて、経営判断の際には基本的に「自分で

ボールは持たずに早期に判断し、投げ返す、処理する」といった考え方につながっています。

仲間や恩師との出会い

同級生には大手のコンサルティング会社、商社、航空会社、メーカーなどの出身の方や土業にて独立されている方、自ら企業経営されている方などさまざまな経歴の方がいました。恩師の高田先生に出会えたのもイノマネのおかげです。同級生や先生とは今でも定期的に飲みケーションをしており、時には一緒に仕事をすることも増えています。

大学院での学びを生かし、組織を構築

そして、二つ目の経営を判断する際の思考回路の構築についてです。授業を受けながら、自社の場合はどうか、自社ではどう生かせるかというのを常に考えておりました。そしてそこで考えたことを実践し、自社の経営に取り入れていくことも多くありました。私が入学したころ、会社では組織体制があまり整備されておられませんでした。大学院での学びを生かし、組織を構築できたのもその一つであったと思います。

科目等履修生としてやりがいのある課題を経験

学び直しという意味では今から4年程前の2020年に、科目等履修生という形で再度イノマネに戻りました。

ここではオムニバス形式の授業が中心でしたが、面白かったのが個人の最終プレゼン課題です。実在する某病院の再建計画について、「6年間全て赤字経営が継続しているが改革してほしいと言われたらどうするか」というものでした。使用可能なのは公表資料のみでしたが、当時から会社でM&Aの主担当を行っていた私にとってはとてもやりがいのある課題で、ほとんど趣味の世界のようなプレゼン資料を作成したのを記憶しています。

経営で難しいことは「やらないことを決める」

JALAは、2012年に入学した時から比べると、企業規模は約4倍から5倍になっています。そこに至るまでには神奈川県、東京都内のみを主戦場にするといった超ドミナント戦略の徹底と、組織の定期的な更新を繰り返して

きています。これもイノマネ時代に学んだことですが、経営で難しいことは「やることを決める」ことではなく「やらないことを決める」ということです。やろうと思えば何でもやれてしまう、しかし、やってしまうことで中途半端になったり力が分散されたりしてしまったり10の力が5と5ではなく、それ未満になってしまう、故にやらないことを決めることが重要な考え方になっています。

常に危機意識を持ちながら、M&A戦略を成長軌道に

エリアを定めてJALAが行ったことは新規施設の開発とM&Aの推進です。新規施設はゼネコンや設計士、金融機関やハウスメーカーと連携を取り、出店ペースをコントロールしながら増やす流れができてつきました。そしてイノマネを卒業した2014年頃からM&Aを活発化させていきました。M&AといってもJALAの場合は事業譲渡中心で株式譲渡や吸収分割などは多くありません。

多くのM&Aは失敗するといわれています。私はその理由を事業デューデリジェンス(以降、D.D.)かPMIの問題であると考えています。前述のとおり、JALAの多くが事業譲渡を前提としているため、前法人である会社に帰属する法的リスクや財務リスクを引き継ぐリスクは大きく軽減されます。そのため、重要なのは事業D.D.なのだと思います。

そしてPMIの統合プロセスに関しては、あまり長期間かけてやるものではないと考えています。短時間で切り替えることで統合プロセスはスムーズになります。これらの考えを前提に置いているので、資料を見た瞬間すぐにこのM&Aの検討を進めるべきか否かを判断することができるのだと思います。

高齢者のための最後の砦・受け皿を「社会的な公器」に

高齢者施設の中には経済的な問題、認知症の問題、医療の問題などさまざまな課題に対して受け入れを行わない施設も多くあります。JALAはその時に高齢者が困らない環境を構築すべく、神奈川県、東京都内における高齢者のための最後の砦・受け皿を「社会的な公器」という立場として発展を続けていきたいと考えております。

25年箱根駅伝 展望

群雄割拠の中、5位奪取のため総力を結集



24年 出雲駅伝のスタートの様

今シーズンの大学長距離界の勢力は、箱根王者の青学大、一昨年の学生駅伝三冠の駒大、出雲・全日本を制し学生駅伝三冠に王手をかけた国学院大の「三強」が飛びぬけている。それ以下は実力が拮抗しており、どの大学が上位になってもおかしくない状況だ。法大もその一つであり、「坪田体制史上最強への挑戦」のスローガンのもと、総合5位以内を目指す。

目標を達成する鍵となる3人の有力選手を紹介する。1人目は武田和馬(社4)だ。今年の箱根駅伝6区区間賞の男である。今シーズンは苦手としていたトラック種目に積極的に出場し、スピードに磨きがかかった。3年連続で6区を出走しているが、平地の起用も示唆されているため、その起用にも注目が集まる。2人目は野田昂斗(社2)で、次世代エース候補の一人だ。前回の箱根ではチーム唯一の1年生で出走を果たした。さらなる飛躍を誓った今シーズンは、他大学の有力選手と対決する機会が増え、強い選手へと成長するための一歩を踏み出した。今年の出雲駅伝では2区8位と好結果を残した。最後の3人目は、今シーズン、大アレイクの注目選手、大島史也(社3)である。9月に5000円で13分35秒33と11年ぶりに法大記録を更新し、11月の10000円で28分10秒01を出し、24年ぶりに法大記録を塗り替えた。2種目で法大記録保持者となった。前回の箱根では当日区間エントリ変更で出走が叶わず悔しい思いをした。2年分の思いを背負い、チームに勢いを与える走りに期待だ。

他にも駅伝の実績が豊富な主将・小泉樹(現4)や宮岡幸大(スポ4)、昨年たすきを繋いだ矢原倅瑛(経3)、清水郁杜(社3)の3年生コンビなどタレント揃いだ。昨年、あと一歩届かなかった総合5位以内へ、オレンジ・エクスプレスいざ出発進行！(経済学部2年 松下天)

法政二高出身のHO(フッカー)花澤祐太が早くも輝きを見せている。高校時代は、桐蔭学園高の高い壁に阻まれ、一度も花園に出場することができなかった。その悔しさを晴らすべく、法大に進学しラグビーを続けた。大学でのデビュー戦となったのは、大学選手権3連覇中の王者・帝京大との試合だった。強力なスクラムが武器の相手から何度もペナルティを奪う活躍を見せ、鮮やかなデビューを果たした。春季大会での活躍が高く評価され、東軍学生代表に1年生で唯一となるスコッド入りを果たした。出場こそできなかったが、大学を代表するHOの一人として認められた。法大のセットプレーの要として、すでに必要不可欠な存在だ。(盛岡佳吹)

今季法大ORANGEに加わったニューカマー・宮本樹音。高校時代には名門・佼成学園のRB(ランニングバック)としてクリスマスボウルにも出場。2年次にはクリスマスボウル制覇に貢献し、3年次には第54回全国高校選手権大会関東地区決勝にて最優秀バック受賞も受賞するなど、輝かしい3年間を過ごした。しかし大学に入ってから「体の大きさやプレススピード」に当初は壁を感じたようだ。それでも夏合宿で手こたえを感じると、桜美林大学との秋季リーグ開幕戦でデビュー。臆することなく自分のプレーを発揮し、チームの勝利に貢献した。今後に向けて「ビッグゲインとTD(タッチダウン)ができるように」と語った宮本が、どのような4年間を歩むのか。今から期待が膨らむばかりだ。(白戸大貴)

「力強いプレーが持ち味」と語る竹澤は、リーグ戦で春秋通して全試合に出場し、すでに法大に欠かせない選手となっている。ダブルスでペアを組んでいる橋村羽奏(経1)との息のあった連携で、点差が開いても果敢に攻め続ける強気のプレーが印象的だ。明るく元気に、を意識しているという竹澤が、得点が決まった時に感情を爆発させる姿は、良い流れを引き寄せる力を持っている。6月に行われた関東学生バドミントン選手権大会では、シングルス決勝で同じく法大のエース・内田美羽(営4)との一騎打ちに敗れ、準優勝で終えた。惜しくも下剋上とはならなかったが、シングルスでも十分に戦えることを示した。成長を続ける法大のニューヒーローから目が離せない。(石橋知花)

名門・鹿島アントラーズの育成組織で育った「勝利の価値を知る男、その名は倉幸成。精度の高い長短のキックを自由自在に操るポラッチは、法大に入学直前の3月に自身初となる世代別日本代表メンバー入りを果たすと、4月に開幕したリーグ戦では1年生で最初にスタメン出場を果たす。その後もコンスタントに法大での出場と、世代別日本代表の選出を繰り返して、今や両方で欠かせない存在になっている。それでも日本代表選出時には「選ばれるというのは当たり前ではない」「選ばれたことに対して責任と自覚を持たないといけない」と、定位置確保への意気込みは切実だ。将来の目標は「鹿島アントラーズへの入団」と答える19歳。謙虚にサッカーに向き合い、法大で勝ち続けることで、「常勝軍団」への帰還を誓う。(大草拓馬)

名門・鹿島アントラーズの育成組織で育った「勝利の価値を知る男、その名は倉幸成。精度の高い長短のキックを自由自在に操るポラッチは、法大に入学直前の3月に自身初となる世代別日本代表メンバー入りを果たすと、4月に開幕したリーグ戦では1年生で最初にスタメン出場を果たす。その後もコンスタントに法大での出場と、世代別日本代表の選出を繰り返して、今や両方で欠かせない存在になっている。それでも日本代表選出時には「選ばれるというのは当たり前ではない」「選ばれたことに対して責任と自覚を持たないといけない」と、定位置確保への意気込みは切実だ。将来の目標は「鹿島アントラーズへの入団」と答える19歳。謙虚にサッカーに向き合い、法大で勝ち続けることで、「常勝軍団」への帰還を誓う。(大草拓馬)

名門・出雲北陵高で主将を務めた実力者が1年生ながらチームの柱になっている。高校時代はダブルスで2年連続インターハイ3位に輝いた実績を掲げて法大に入学した佐藤。4月に行われた新人戦では、同じく1年生の岩井田雄斗(国際文化1)とのダブルスで準優勝に輝くと、5月のリーグ戦ではチーム最多の4勝を挙げて8年ぶりのAクラス入り(4位)に貢献する。7月のインカレでは法大では唯一の1年生として出場し、9月に行われたリーグ戦でも「主力」として、春を超えるチーム最多の5勝でリーグ戦通算9勝を挙げた。特に秋季の日大戦では、ダブルス全日本王者に輝いた小林・伊藤ペアに勝利する大活躍を見せ、チームの金星に大きく貢献した。2025年1月には全日本卓球選手権大会に、島根県代表として男子シングルスと混合ダブルスに出場を予定している。関東学生だけに留まらず、その名を日本中に轟かせる準備はできている。(大草拓馬)

小学校5年生から重量挙げに取り組んでいるという吉村は、高校2年次にインターハイで優勝と圧倒的な力で法大の門を叩いた。大学入学後は、「記録を伸ばしたい」の一心で8キロの増量に成功すると、81キロ級を主戦場とする。大学入学後、最初の大会である全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会ではトータル2位と結果を残し、夏季の団体戦メンバーに名乗りをあげた。特にクリーン&ジャークでは1位と、十分戦えることを証明している。10月の国民スポーツ大会ではスナッチは成功するも、ヘルニアと急性腰痛症のダブルパンチでクリーン&ジャークで棄権と不完全燃焼に終わった。「人生で初めて記録ゼロに終わった」と、この悔しさは法大でしか晴らせない。12月に行われるインカレでの「完全復活」に期待がかかる。(大草拓馬)

法政スポーツを担う 注目の新人たち

ライターは「スポーツ法政」部員

アメフト

宮本 樹音 (文学部)
 出身高校/佼成学園(東京都)
 主な成績/高校2年時にクリスマスボウル制覇。3年次には第54回全国高校選手権大会関東地区決勝にて最優秀バック受賞

ラグビー

花澤 祐太 (経済学部)
 出身高校/法政大学第二高等学校
 主な成績/関東高等学校ラグビー大会Eブロック優勝、高校ラグビー神奈川県予選ベスト4

バドミントン

竹澤 みなみ (国際文化学部)
 出身高校/西武台千葉高校
 主な成績/令和5年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会 シングルス5位、ダブルス5位

弓道

坂本 翔 (人間環境学部)
 出身高校/足利大学附属高校(栃木県)
 主な成績/国体少年男子の部 近畿競技(団体戦)優勝。関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 優勝。個人、団体ともにインターハイ出場(2年次)

サッカー

小倉 幸成 (経済学部)
 出身高校/鹿島学園高等学校
 主な成績/鹿島アントラーズの育成組織でキャプテンを務めた。

硬式野球

倉重 聡 (経営学部)
 出身高校/広陵高校(広島県)
 主な成績/明治天皇御生誕百七十年記念第五十三回 明治神宮野球大会 準優勝、第95回記念選抜高等学校野球大会 4強、第105回全国高等学校野球選手権記念大会 3回戦惜敗

卓球

佐藤 卓斗 (経営学部)
 出身高校/出雲北陵高校(島根県)
 主な成績/第70回中国高等学校卓球選手権大会 ダブルス優勝、第92回全国高等学校卓球選手権大会 ダブルス3位

重量挙げ

吉村 悠希 (経営学部)
 出身高校/岐阜県立土岐商業高校
 主な成績/「令和4(2022)年度・全国高等学校総合体育大会」(インターハイ)のウエイトリフティング男子73キロ級で優勝。

賢哲逝く 清成忠男先生を悼む



清成 忠男先生
法政大学学事顧問
法政大学名誉教授

1933年東京都生まれ
1956年3月東京大学経済学部を卒業
1972年～1996年法政大学経営学部教授(1986年～1988年は学部長兼務)
1996年～2005年法政大学総長
1997年日本ベンチャー学会設立、初代会長
2005年～法政大学名誉教授・学事顧問
2006年～(財)沖繩協会会長、フランス政府よりフランス教育功労賞コマンドゥールを授与
2010年瑞宝大綬章受章
2012年事業構想大学院大学特別顧問
2014年～2016年事業構想大学院大学学長
その他、内閣府沖繩振興開発審議会会長、日本私立大学連盟副会長、大学基準協会会長などを歴任。一般社団法人国家ビジョン研究会理事兼産業革新分科会会長で現在に至る。

公職
首都大学経営審議会学外委員、特定非営利活動法人三鷹ネットワーク推進機構理事長、元学校法人活性化・再生研究会会長(私立学校振興・共済事業団)、日本ベンチャー学会特別顧問、(社)日本私立大学連盟副会長、元(財)大学基準協会会長

著書
『経済活力の源泉』(東洋経済新報社)、『グローバル時代の地域づくり』(ぎょうせい)、『21世紀の私立大学像』(法政大学出版局)、『淘汰時代の大学自立・活性化戦略』(東洋経済新報社)、『現代日本の大学革新』(法政大学出版局)

「金子征史先生をしのぶ会」を開催しました



金子征史名誉教授が2024年2月15日に逝去されました。先生は、ここ数年闘病の生活となり、昨年末にはいったんは自宅周辺を散歩されるなど元気を取り戻されたそうですが、年明けに病状が急変され亡くなりました。享年79歳でした。

先生は1944年に東京でお生まれになり、1963年に本学法学部に入学、以

てからは、先生が如何にして組織をまとめ上げられるかを傍らで学ぶ機会を得られたことは幸運であった。1996年、総長に就任されてからも、喧騒に包まれるキャンパスで学生部長を務める小職をいつも冷静沈着に励ましてくださった。また、ある折には、米国のために大内山を望む旧総長室を訪ねたことがあった。紹介した張本人であるので小職も同席したが、通訳など全くの無用でお互いを思い出している。帰りが遅いので大内山の客人にたいしてご自身で対応されていたことを聞き、先生の卓越した対話力と国際感覚にただただ脱帽するばかりであった。

さて、清成先生が学者として世に知られる背景は、やはり「二重構造」と「ベンチャービジネス」であろう。それらの概念、哲学については、その道の学者、研究者が敷衍している。ここでは、大学改革の唱道者としての先生について触れてみたい。大学とはやもすると旧弊に囚われがちなる組織と見なされるかもしれないが、先生はいち早く「21世紀は、市場セクター、政府セクター、非営利セクター」から成る混合経済の時代」が来ることを見抜き、知的創造活動の拠点となるべき大学はこれら各セクターと協力し合いながら社会の問題解決に当たる重要性を主張されている。問題解決を志向する主体は、広い視野と複合的視点に立つべきで、従来の文系、理系の枠に囚われることのない「文理融合」を訴え、そ

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

論、38年にわたりゼミを担当、600人余のゼミ生を指導され、各界に人材を輩出されてきました。年末には毎年OB・OG会を開催し、全国から多くの卒業生が集まり、先生を囲んで学生時代の話、仕事の話で盛り上がり、時には愚痴もありながらも、先生はいつも笑顔で話を聞いていらしたことを思い出します。

6月22日(土)に薩埵ホールにおいて「金子征史先生をしのぶ会」を開催しました。会には、研究活動のご友人、かつてのご同僚をはじめ、学内で先生を慕っていた教職員、ゼミOB・OGなど200人を超える方々が参加され、多くの方々から先生の思い出をお話いただきました。誰にも優しく、そして丁寧に寄り添われていたお人柄があったのと同じ思いです。今でも、「おい近藤」と声をかけられるような気がしてなりません。多くの方々も、同じ思いかと思えます。そんな先生がいらっしゃらなくなったことが残念でなりません。謹んでお悔やみ申し上げます。

(常勤監事・金子ゼミ 6期生 近藤清之)

てからは、先生が如何にして組織をまとめ上げられるかを傍らで学ぶ機会を得られたことは幸運であった。1996年、総長に就任されてからも、喧騒に包まれるキャンパスで学生部長を務める小職をいつも冷静沈着に励ましてくださった。また、ある折には、米国のために大内山を望む旧総長室を訪ねたことがあった。紹介した張本人であるので小職も同席したが、通訳など全くの無用でお互いを思い出している。帰りが遅いので大内山の客人にたいしてご自身で対応されていたことを聞き、先生の卓越した対話力と国際感覚にただただ脱帽するばかりであった。

さて、清成先生が学者として世に知られる背景は、やはり「二重構造」と「ベンチャービジネス」であろう。それらの概念、哲学については、その道の学者、研究者が敷衍している。ここでは、大学改革の唱道者としての先生について触れてみたい。大学とはやもすると旧弊に囚われがちなる組織と見なされるかもしれないが、先生はいち早く「21世紀は、市場セクター、政府セクター、非営利セクター」から成る混合経済の時代」が来ることを見抜き、知的創造活動の拠点となるべき大学はこれら各セクターと協力し合いながら社会の問題解決に当たる重要性を主張されている。問題解決を志向する主体は、広い視野と複合的視点に立つべきで、従来の文系、理系の枠に囚われることのない「文理融合」を訴え、そ

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)

の他にも大学だけに偏らないさまざまな研究機関と幅広く協働し「開かれた存在」になるべく構造転換を図ることこそが至上命題であると力説されていたのである。そして、学生連には、専門能力、幅広い教養、的確な勤労観を身につけ、自分で考え、判断し、主体的に自らの運命を切り拓いていくことの大切さを説かれていた。

清成先生のご指摘は慧眼であり、21世紀もはや四半世紀が過ぎ去ろうとしている今でも何ら色褪せることはない。人の永逝は宿命とはいえ、法政大学にとってはいえ、法政大学にとつてはかえすがえすも惜しい人を亡くしてしまつた。先生が法政大学に遺された21世紀への遠大なビジョンに心より敬意を表し、ご冥福を祈るばかりである。

(経営学部教授 福多裕志)



二階堂 恭世 (経済学部)
出身高校 / 法政大学第二高等学校
主な成績 / 高校3年時に日韓中ジュニア交流大会のU18日本代表選手に選出される。



仲光 陸遥 (経済学部)
出身高校 / 九州学院高校(熊本県)
主な成績 / 第100回日本選手権4位入賞(OWS 10km)

エールお届け隊

自主マスコミ講座の有志団体「エールお届け隊」は、自主マスコミ講座生を対象に「東京六大学野球全力応援ツアー」を企画しました。

エールお届け隊は21年春、講座所属の1年生(現4年生)が設立し、学生目線で法政の魅力年全国の受験生に伝える動画を投稿しています。

今回の野球応援ツアーの企画には原動力があります。1年次に参加した学生センター主催の課外教養プログラム「甲子園ポウル応援ツアー」。当時、アメフト初観戦で、選手たちの華麗なステップやおとり作戦はもちろん、スタンドでは、学生も卒業生も大声で校歌を斉唱する一体感に圧倒されました。あの感動を、法政スポーツの魅力、一人でも多くの学生に体感してもらおうと企画が始動しました。

10月13日、対東大2回戦の明治神宮野球場に32名の講座生が集いました。このツアーはコロナ禍前の自主マスコミ講座で毎年行われた伝統行事で、5年越し、念願の復活です。鮮やかなオレンジとブルーの応援旗が翻る中、リーダー部・吹奏楽部の力強い演奏と掛け声で、絶え間ないエネルギーが送られます。参加者の多くは初観戦で、序盤は掛け声に精一杯でしたが、選手とスタンドの迫力で自ずと試合にのめり込むと、応援の声も段々と大きくなり、熱い気持ちがぶつかり合うこの空間の虜になりました。

試合終了後、「ホームラン、かっこよかったなあ」「8回のあのシーンは惜しかったね」「『チャンス法政』最高」など、法政スポーツの魅力を満喫した声が聞こえ、法政スポーツに熱狂する楽しさ、応援で団結する喜びに気付く学生を増やせたと感じています。

エールお届け隊は今後も学内・学外へ、法政大学の魅力を「お届け」します。私たち4年生は今年度で卒業ですが、今後は卒業生として、法政スポーツを応援し続けます。

H・O・S・E・I 法政! (斎藤一太、田牧詩乃)



自主マス恒例の六大学野球応援

この春新しく法大メンバーに加入した二階堂恭世は、1年生ながら春季、秋季リーグで早くもゴールキーパーとして活躍する姿を見せた。長身を活かしたキープ技術と謙虚で明るい性格で早くもチームに馴染んでいる二階堂だが、コート上では圧巻のセーブで法大のゴールを守る最後の砦のような存在だ。秋リーグでは観客も驚く連続セーブを見せ、流れを変えるなど起爆剤のような役割を果たす姿も見せた。

まだまだ荒削りな所も見受けられるが、1年生らしいフレッシュなプレーや早いうちからのリーグ出場など、着実にキャリアを積み上げている。大学でもハンドができていくことに感謝を自身のポリシーに活躍する彼は、今後のさらなる成長が楽しみな選手の一入だ。

(真中咲輝)

水泳部の中から注目すべき1年生を一人挙げるとするならば仲光陸遥の名を挙げたい。九州学院高校時代から全国に名をはせる活躍を見せ、高校3年次には日本選手権の1500m自由形で5位入賞を果たし、世界ジュニア選手権の代表にも選出された。大学入学後には六大学対抗戦などで経験を積み着実に成長を遂げた。8月に行われた関東インカレでは、1500m自由形で自己ベストを更新し、銀メダルを獲得した。さらにインカレと同時に世界ジュニア選手権の代表に再び選出され、OWS(オープンウォータースイミング)の10kmの部に出場。OWSは初めての経験だったというが25位に入る活躍を見せた。また、先日行われたばかりの日本選手権の同じくOWS部門では4位入賞。この結果からも確実に実力をつけてきていることに間違いはない。そして、メダルに一步及ばなかった悔しさを糧にさらなる飛躍を遂げることに間違いはないだろう。

(齋藤凌)

ゲスト講演「秋田、そして法政大学」



映画監督成田洋一さん

第30回法政大学全国卒業生の集い 秋田大会より

第30回法政大学全国卒業生の集いの「公開講演」と「式典」が、10月26日に秋田市内のあきた芸術劇場ミルハスで開催されました。

賞を映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」で受賞しています。

娘さんも法政大学に

実は本来は明日まで海外にいる予定でした。ですが、母校である法政大学全国卒業生の集いにお話しさせていただけること、さらに、それが故郷である秋田で行われるということ、早めに切り上げてこの会場に来ました(拍手)。

ちなみに海外は、仕事ではなく娘との旅行でした。娘は、今年、法政大学の社会学部メディア社会学科を卒業しました。

この講演の参考として、娘に「そういえば、なぜ法政大学の社会学部にいったの」って聞いたら、

いろいろ挙げてました。が、それよりなるほどと思ったのが、入学後の感想です。総長も先ほどおっしゃってましたが、学部の垣根が低いので、他学部の授業も受けやすい、他学部でも学べたことが大きかったと言っていました。また、サークルなどの課外活動で自分の興味あることを見つけて、それを学業と合わせて深めることができたとも言っていました。いい大学だなあと思いましたね(笑)。

さて娘のことはこの辺で、私は高校は秋田工業高等専門学校に進学しました。なぜ高専かというところ、親友が行くと言ったからです。そして合格しました。すぐ向いていないのがわかり、3年で辞めました。

この高専時代に、漠然と映像の仕事、できれば映画監督になれたらなと思いはじめました。当時は映画といえは洋画で、吹き替えではありましたが、テレビで「ドクトル・ジバゴ」や「アラビアのロレンス」などを見て、「世界を意味し、どうにかして秋田を出て、世界に出たいな」と思っていました。

それには、映画監督かつアーコンダクターかな、いずれにしても東京の大学に行こう、と決めて、一浪後、いくつかの大学に通りました。その中で、私は高校は秋田工業高等専門学校に進学しました。なぜ高専かというところが、大学生活は映画への志を忘れ、遊んでましたねえ。当時は、遊んでた田原俊彦さんのトシちゃんカットをし、流しりの服を着て、遊び回りました。

これまで600本以上CMを撮りました。「世の中にないものをつくる」ということを考えてやってきました。誰しもが作ってきたことをやりたくないです。

目を見張る活躍をする秋田出身の校友



秋田県校友会幹事長 川上清一さん (1972年経済学部卒)

林丈正さん。箱根駅伝で、当時、学生最強と言われた早稲田の瀬古利彦選手に勝った成田道彦さん。TDKで都市対抗の硬式野球部監督になり優勝した船木千代美さん。若い人で言えばフジテレビアナウンサーの木村拓也さんなど、秋田県出身の法政大学卒業生は、県内外で活躍しています。今回の秋田県大会では、その中から日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞し

「秋田出身の校友と言えば、元総理の菅義偉さんは言うに及ばずですが、(株)東光ホールディングスという連結ベースで100億円の企業を率いた虹川東雄さん。秋田県議会議員の北

CMは600本以上

当時は糸井重里さんや川崎徹さんが一世を風靡していました。カッコいい仕事のコピーライターやCMディレクターでした。

なので、卒業にあたっては、CMディレクターになりたいと、CMプロダクションを受けま

りましたが、いずれも300倍といったような倍率で全部落ちました。卒業の間に新聞に小さく乗っていた制作プロダクション(株)イメー

ジサイエンスという会社へ、やっと入りました。今、それを考えると、日本アカデミー賞をいただいたことやCMをたくさん撮ったことなど、信じられないような気がします。

宮会」親睦ゴルフ&交流会」に第30回法政大学卒業生の集い秋田大会実行委員会に合わせた「サマー交流会」などが行われている。県内在住卒業生約800人中、秋田県校友会の正会員は現在、約70名。

今年度秋田県から法政に入学した学生は9人

「若い人に入会してほしいとお願ひしていますが、勤めているイベントになかなか参加できないようです。銀行や市役所などに若い卒業生がいますが、今年度は、秋田県から法政に入

た秋田市出身の成田洋一さんに「ゲスト講演」をお願いしました。ちなみにこの秋田大会の総司会会の質内隆弘さんと幸坂理加さんは、当然、法政の卒業生で、地元テレビ局ではアナウンサーとして先輩後輩の間柄でした。

観客動員数350万人

日本アカデミー賞優秀監督賞をいただいた「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」は、松竹さんから、お声をかけていただきました。「光を追いかけて」のクオリティとCMでの実績を見てこのことだそう。

この映画は思った以上にヒットをし、驚いていました。観客動員数350万人にのぼり、興行収入45億は松竹の企画作品としてトップ記録を塗り替えました。

松竹さんと初めてお話ししたとき、若者がデートで行く恋愛映画にしたというところでしたが、特攻隊がテーマの映画を安易に恋愛映画にするのに抵抗があり、一度はお断りしようと思いましたが、作者の戦争への強い怒りを感じました。私もロシア、ウクライナの戦

争などに対して頭にきていたので、若い世代をターゲットにめっちゃめっちゃアルに描けるんだったらよろうと思いました。この映画のゴールを、彼らが見たときに「絶対に戦争をやってはいけない、戦争をさげな」と思ってもらえる映画にできるんだったらぜひやらせてもらおうと思いました。なので、カップルが映画を見た直後「何食べに行く？」といった会話ではなく、席を立てず、口を聞けない、そんな心に刺さるめっちゃリアルな作品にしようと考えました。

その想いが伝わるように、かなり計算して脚本を書きました。一瞬で商品や企業を売るCMを長い間やってきたノウハウを、結果として注ぎ込んだかろうまくいったのかも思いません。思ったような映画として達成できた上に、日本アカデミー賞をいただける、さらに今、この法政の秋田大会にいらして、ありがとうございます(拍手)。

公開講演としては、この他、基調講演として廣瀬克哉法政大学総長、菅義偉元内閣総理大臣のビデオメッセージ、小早川毅彦プロ野球解説者の講演などが披露されました。公開講演、式典を終えて、会場は秋田キャッスルホテルに移動して、懇親会が行われアトラクション・演舞を一同大いに楽しみました。

(文・構成 桑原政昭 撮影 大桃信義)

観客動員数350万人

日本アカデミー賞優秀監督賞をいただいた「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」は、松竹さんから、お声をかけていただきました。「光を追いかけて」のクオリティとCMでの実績を見てこのことだそう。

この映画は思った以上にヒットをし、驚いていました。観客動員数350万人にのぼり、興行収入45億は松竹の企画作品としてトップ記録を塗り替えました。

松竹さんと初めてお話ししたとき、若者がデートで行く恋愛映画にしたというところでしたが、特攻隊がテーマの映画を安易に恋愛映画にするのに抵抗があり、一度はお断りしようと思いましたが、作者の戦争への強い怒りを感じました。私もロシア、ウクライナの戦

争などに対して頭にきていたので、若い世代をターゲットにめっちゃめっちゃアルに描けるんだったらよろうと思いました。この映画のゴールを、彼らが見たときに「絶対に戦争をやってはいけない、戦争をさげな」と思ってもらえる映画にできるんだったらぜひやらせてもらおうと思いました。なので、カップルが映画を見た直後「何食べに行く？」といった会話ではなく、席を立てず、口を聞けない、そんな心に刺さるめっちゃリアルな作品にしようと考えました。

その想いが伝わるように、かなり計算して脚本を書きました。一瞬で商品や企業を売るCMを長い間やってきたノウハウを、結果として注ぎ込んだかろうまくいったのかも思いません。思ったような映画として達成できた上に、日本アカデミー賞をいただける、さらに今、この法政の秋田大会にいらして、ありがとうございます(拍手)。

公開講演としては、この他、基調講演として廣瀬克哉法政大学総長、菅義偉元内閣総理大臣のビデオメッセージ、小早川毅彦プロ野球解説者の講演などが披露されました。公開講演、式典を終えて、会場は秋田キャッスルホテルに移動して、懇親会が行われアトラクション・演舞を一同大いに楽しみました。

(文・構成 桑原政昭 撮影 大桃信義)

第23回オール法政ゴルフ大会が猛暑の中で開催される

9月9日(月)法政大学校友会の3大イベントのひとつである、第23回オール法政ゴルフ大会が千葉県キングフィールズゴルフクラブで開催されました。近年の猛暑を考え、開催日を例年より1週間延ばしての開催でしたが、最高気温33.5度と猛暑の中で、まさに熱戦が繰り広げられました!栄えある優勝者は、法友野球倶楽部の飯塚正彦さんでした。成績はグロス77、ハンディキャップ7.2、ネット69.8という素晴らしい成績でした。女性部門での優勝者は、福井県校友会の木村代代さんでした。名古屋現太郎さん、伊藤齊さんの2名の方がエイジシュート達成されました。

ご参加いただきました皆さんも非常に暑い中、お疲れ様でした! また来年、キングフィールズゴルフクラブでお会いして、スクラム校歌を歌いましょう!

秋田県校友会の幹事長・川上清一さんは秋田県出身の校友について、こう語る。現在の秋田県校友会の活動は、2024年を例にとると、「秋田県校友会・秋田支部合同定時総会」、東京六大学の県内出身者が集う「第44回東京六大学」神

「若い人に入会してほしいとお願ひしていますが、勤めているイベントになかなか参加できないようです。銀行や市役所などに若い卒業生がいますが、今年度は、秋田県から法政に入

学した学生は9人でした。少子高齢化に加えて、東京まで送り出す経済的な負担が高いことが、要因でしょう。以前の法政の授業料は早稲田や明治に比べて安かったですけどね。

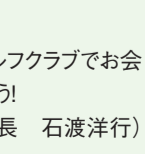
秋田県だけでなく、全国各地から子どもを東京に送り出すには、経済的な負担がまず課題になってくるだろう。

それはともかく、総理大臣から地元政界、実業界、スポーツ選手、映画監督、アナウンサー……。秋田の校友の活躍は目を見張るものがある。

秋田県校友会の幹事長・川上清一さんは秋田県出身の校友について、こう語る。現在の秋田県校友会の活動は、2024年を例にとると、「秋田県校友会・秋田支部合同定時総会」、東京六大学の県内出身者が集う「第44回東京六大学」神



480人の校友が肩を組み校歌斉唱



ご参加いただきました皆さんも非常に暑い中、お疲れ様でした! また来年、キングフィールズゴルフクラブでお会いして、スクラム校歌を歌いましょう! (副会長 石渡洋行)